

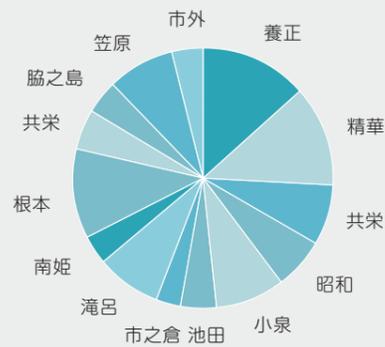
新本庁建設に関する市民意識調査

詳細はQRコードにてご確認ください

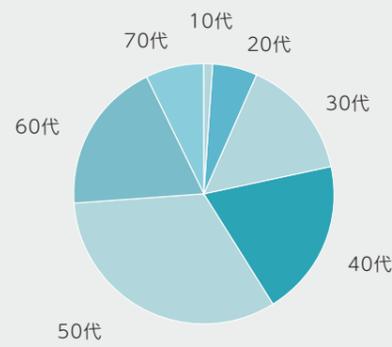


答えた人

住んでる地域



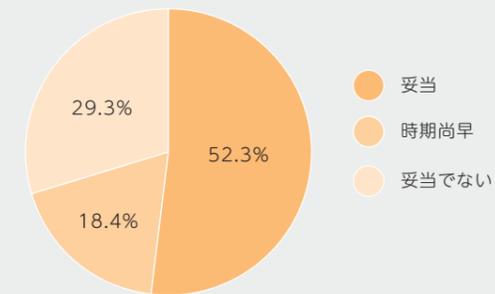
年齢



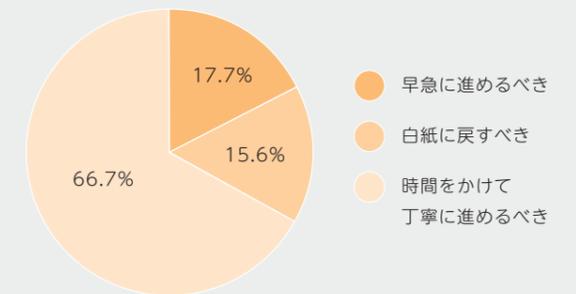
総回答者数 1,096 人のうち、30代～60代が全体の85%ほどを占めています。また、居住地域についてもバランスの取れたデータとなっています。このことから、今回の調査は市民意見を一定程度反映したものと言って差し支えないと考えます。

どうする？本庁舎問題

移転について



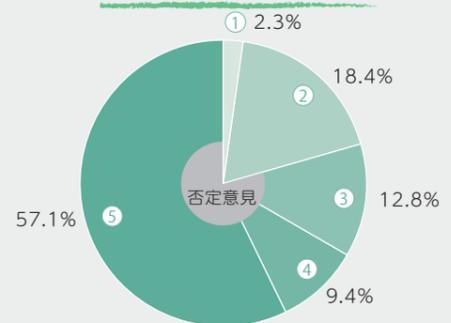
今までの議論の進め方



本庁舎を駅北に移転することについて、52.8%の人が「妥当である」と答える一方、否定的意見も半数近くに達し、賛否が拮抗する格好となりました。また、今後の議論の進め方については慎重論が多数を占めており、丁寧な議論の必要性が再認識されました。

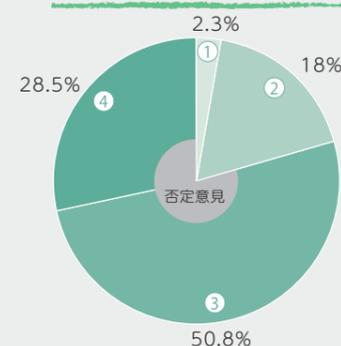
ご存知ですか？これまでの議論

これまでの議論



- ① とても丁寧
- ② それなりに丁寧
- ③ 少々いい加減
- ④ かなりいい加減
- ⑤ 議論の内容を知らない

多治見市からの説明

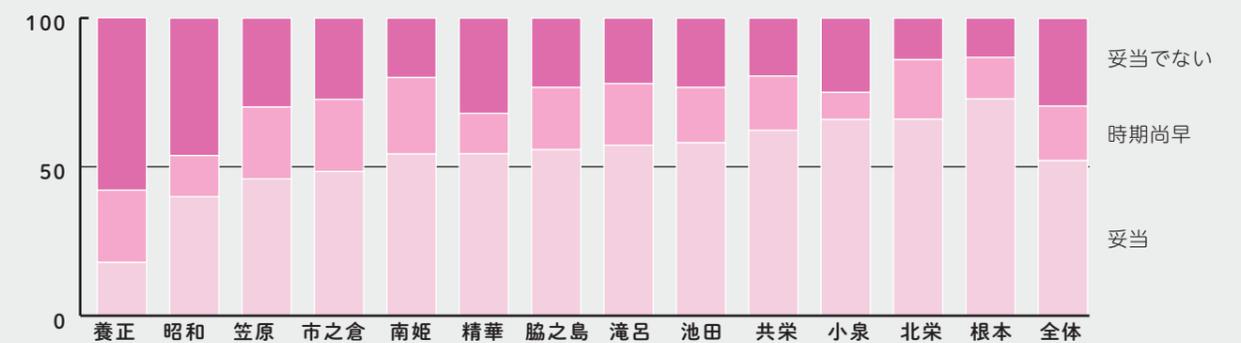


- ① 十分に伝わっている
- ② それなりに伝わっている
- ③ あまり伝わっていない
- ④ 全然伝わっていない

「多治見市の提案は市民に十分伝わっていますか」という質問に78.9%の人が「伝わっていない」と答えています。また、「これまでの議論の進め方」を評価する声は2割にとどまり、本庁舎移転の議論は市民の皆さまに十分浸透していないことがわかりました。

校区別でみると...

移転について



移転についての賛否は校区によって偏りがあり、現本庁舎に近い地域ほど反対意見が多いことがわかります。一方で、丁寧な議論を求める声は全市的に広がっており、移転の是非はともかく十分な説明が不足している状況が見て取れます。